

予 算 要 求 資 料

令和5年度5月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 【新】家畜育成牧場乳用初妊牛譲渡支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111(内4140)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 36,855 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	36,855	0	0	0	0	0	0	0	36,855
決定額	18,428	18,428	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和3年1月以降、配合飼料価格が高騰し、現在は価格は高止まりが続いており、県営家畜育成牧場の経営に大きな影響を及ぼしている。

県営家畜育成牧場では初妊牛の畜産農家への譲渡価格の引き上げを行い、経営安定につなげることを予定しているが、畜産農家も飼料価格高騰の影響を受けていることから、価格の改訂は畜産経営に大きな負担を及ぼすことが懸念される。あわせて、牧場の利用頭数が減少することも危惧される。

このような中、再生産可能な畜産経営を維持するため、東濃牧場の初妊牛導入にあたり生産者負担を軽減するための緊急的な支援が求められている。

(2) 事業内容

乳用初妊牛の譲渡価格を維持し、酪農家の負担軽減を図るため、岐阜県農畜産公社に対し、譲渡価格増加相当分を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：定額

<補填金単価> 81,000円/頭

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	36,855	事業対象期間：令和5年度 81,000円/頭、455頭
合計	36,855	

決定額の考え方

補助率を1/2とし、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

なし

(3) 後年度の財政負担

緊急対策のため単年度とし、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体：畜産生産者団体（一般社団法人岐阜県農畜産公社）

妥当性：東濃牧場を指定管理している団体のため、速やかな事業実施することが可能と思われ、事業実施主体として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	家畜育成牧場乳用初妊牛譲渡支援事業費補助金
補助事業者（団体）	畜産生産者団体（一般社団法人岐阜県農畜産公社） （理由） 東濃牧場の指定管理を行っている団体であり、速やかに事業実施するに当たり、本団体が適している。
補助事業の概要	（目的） 東濃牧場を利用する畜産経営の負担を軽減するため緊急避難的に支援する。 （内容） 乳用牛の頭数に応じ、譲渡価格増加相当分を補填する。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） <補填金単価> 81,000円/頭 （理由） 譲渡価格上昇分を補填するため
補助効果	東濃牧場からの譲渡価格に対し補填することで、東濃牧場を利用する畜産経営への影響を緩和することができる。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） 緊急対策のため

(事業目標)

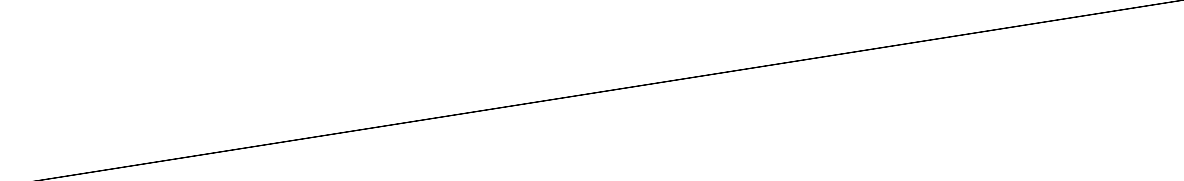
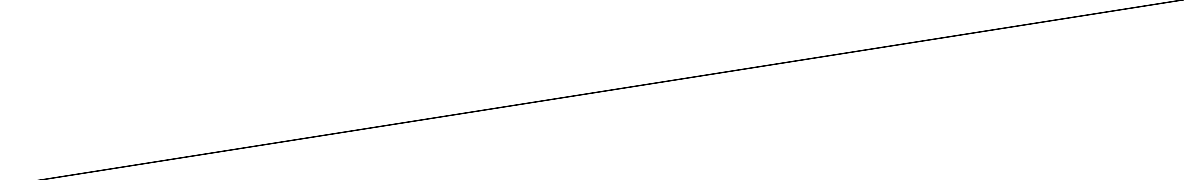
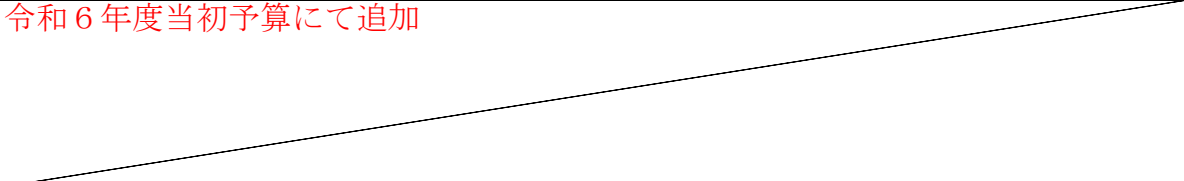
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 東濃牧場販売価格高騰の影響を緩和し、再生産可能な畜産経営を維持する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	令和3年1月以降、配合飼料価格等が高騰しており、当面下がる見込みもなく酪農家の経営を圧迫している現状から、緊急支援の必要性は高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	補填金を交付することで、譲渡価格高騰の影響緩和が期待できる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 緊急対策であるため、迅速な事業遂行が求められる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 緊急対策であるため、継続する予定はない。</p>
--